

大橋卷子 （執筆し） 歌人。文政七年十月二十九日江戸（日本橋元濱生れ、

明治十四年十一月二十二日歿（八二西一八一）。父は豪商大橋淡雅（本姓

菊池）。嫡者大橋訥菴の妻。歌學を母氏子に受けた。訥菴が坂下門事

件に連坐するや救済に奔走。その始末を歌文に認めたり「夢路日記」(文

久)一年成。松下郵塾版、久阪江月齋著「侯采釋録」并「夢路ノ日記」

所收では菊池槇子名)は廣く讀まれた。また「大橋卷子家集」(寺田

剛編、昭和十二年十一月二十五日栃木・菊池次郎刊)に書翰集と共に

収録。維新时期有数の文才ある女丈夫。